

令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名	加古川市立加古川中学校
-----	-------------

1 教育目標 自分で考えて行動する-自律・創造・尊重- ~笑顔あふれる学校 Smart Tough Heartful ~

2 基本方針
 (1) School Project(Smart ,SDGS) の推進
 (2) 命を尊び、自他を大切に、いじめを許さない、豊かな人権意識をもつ生徒の育成
 (3) 生徒の学力向上を図るための学習指導の工夫・改善 (ICT活用、スマート探究学習等)
 (4) 学校運営協議会及び加古川ユニット教育推進協議会による地域とともにある学校の充実
 (5) 学校組織力及び教職員の資質能力の向上

3 指導目標
 (1) 「確かな学力」の育成 (2) 「健やかな体」の育成 (3) 「豊かな心」の育成 (4) 生徒指導・特別支援教育の充実 (5) 開かれた学校 (6) 特色ある取組

評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
「確かな学力」の育成	進んで学習に取り組む	B	ICTを効果的に活用し、個に応じた学習支援を充実させる。デジタルでの振り返りを通して学びの成果を可視化し、家庭と連携して自律的な学習習慣の定着を促す。	個に応じた学習支援は大変重要であり、自律的な学習が定着すれば、学力向上にもつながるはずである。人数も多く大変だとは思いますが、家庭と連携し、ICTを積極的に活用した学習のさらなる充実を期待する。	B
「健やかな体」の育成	健康・安全を大切にする学校づくり	A	養護教諭と担任の連携を深め、ICTデータから心身の異変を早期に把握・対応する。保健だより等で情報を適時発信し、家庭と協力して健康意識を高め、自らの安全を判断し行動できる自律した生徒を育成する。	心や体の問題等変化の多い時期だからこそ、養護教諭と担任の連携だけでなく、家庭や学校全体で協力して支えていくことが大切である。今後も、心身ともに健康で過ごせる安心安全な学校づくりを進めてもらいたい。	A
「豊かな心」の育成	道徳心・人権意識の高揚	A	計画的な職員研修を通じて教職員の人権意識と指導力を向上していく。また、日常の学校生活で生徒の道徳心や人権意識を育むための行事等を積極的に実施し、全体的な意識向上を図る。	道徳心の育成は、学力や部活動と同様、あるいはそれ以上に重要である。職員研修の成果が日々の指導に反映されることを願う。地域性として人権意識の高さを感じる。自他ともに愛せる人間になってほしい。	A
生徒指導・特別支援教育の充実	いじめを絶対に許さない集団づくり	A	「いじめ防止基本方針」に基づき、些細な兆候も見逃さない積極的な認知と対応を徹底する。人権学習や生徒会活動、「心の絆プロジェクト」等の取組を通じ、いじめを「しない・させない・許さない」集団の質を高める。	生徒会活動をさらに活性化させ、学校全体でいじめの未然防止の取組を進めてほしい。スマホ関連の対策を含め、学校だけでなく家庭との連携を図り、生徒が安心して通える加古中であってほしい。	A
開かれた学校	学校行事等の工夫	B	行事の計画・運営段階からICT等を活用し、生徒の主体的なアイデアを反映させる工夫を行う。また、準備過程の効率化を図ることで、生徒・教職員ともにゆとりを持って本番に臨める体制を構築する。	よく取り組んでいる。工夫や効率化だけでなく、生徒や教職員が「やり遂げた」と実感できることも大切にすべきである。さまざまな意見や要望に対して、何を大切にするのかを考えながら教育活動を行ってほしい。	A
特色ある取組	勤務時間等の業務改善	C	校務でのICT・AIを活用し、会議の精選や資料共有のデジタル化により業務を効率化する。確保した時間を生徒への個別支援や教材研究に充て、教育活動の質と持続可能性を向上させる。	ICTが効率的に活用されている。生徒数に対する教職員の数が少ないと感じる。生徒に真剣に向き合うほどに時間が足りなくなるのではないかと。大変かと思うが、改善に向けて鋭意取り組んでほしい。	B